

カテゴリー		
主要事業名		事業概要
ア) ハードを中心とした施策		
小牧駅周辺整備	平成 30 年 3 月に策定した「小牧駅前広場等整備基本構想」に基づき、駅前広場等の整備、市道小牧駅西線電線共同溝の整備等を実施。公共交通の利便性向上、快適な歩行者空間やオープンな広場の整備を行い、中心市街地のにぎわい創出・魅力向上を図る。	
新図書館建設	平成 29 年 6 月新小牧市立図書館を A 街区の市所有地（市営小牧駅西駐車場・にぎわい広場）に建設する方針を決定。現図書館の約 2 倍の収容冊数を備え、知の拠点として機能拡充し、レファレンスサービスの充実、ＩＣＴ化の推進等、利用者ニーズに対応予定。多目的利用のスペース等を配置しボランティア等市民活動の場を提供、カフェスペースを設置し居心地のよいラウンジやテラス席を配置予定。令和 3 年 3 月末オープンを目途。	
(仮称)こども未来館施設整備	ラピオ内に（仮称）こども未来館を整備し、子育て支援の拠点とこどもが主役となる拠点づくりを行う。令和 2 年夏オープンを目途。	
子育て世代包括支援センター	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施するワンストップ相談窓口としてラピオ 3 階に開所。	
小牧市民病院の建替	令和元年 5 月供用開始。 「救急医療」、「がん診療」、「高次医療」を 3 本柱とした医療機能の拡充を実施。現在旧病棟解体中、解体後公共交通用ロータリー、立体駐車場及び公園を整備。	
小牧口駅バリアフリー化	名鉄小牧線小牧口駅にエレベーターの設置などバリアフリー化に対し工事費の補助を行うもので、令和元年度内のエレベーター供用開始を目指す。	
こまき巡回バス運行	交通空白地域のモビリティ向上、公共施設へのアクセスの確保のためコミュニティバスを運行することにより、公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和に加え、自家用車から公共交通機関への利用転換を促すことで、高齢者等の運転による自動車事故の減少に寄与。 市内全域 19 コースを 18 台で運行。（小型ノンステップバス[乗車定員 35 名]11 台、ワンボックス[乗車定員 8 名又は 10 名]7 台） 令和 2 年度ルート・ダイヤ再編予定	
民間木造住宅耐震改修	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、無料耐震診断を実施するとともに、耐震改修、除却及び耐震シェルター等設置費の一部を補助する。	
公共ファシリティマネジメント推進	建替え・大規模改修などの費用負担、少子高齢化などによる施設への市民ニーズ変化等に対応するため、平成 29 年 3 月に本市の公共施設のあり方の基本的な方針である小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針を策定した。これに基づき、施設の維持・更新に係る費用を抑制し、財政負担の軽減、平準化を図る。	
史跡小牧山整備、小牧山城史跡情報館れきしるこまき	史跡小牧山主郭地区（山頂周辺）の発掘調査を行い、織田信長が築いた石垣の状況を明らかにするとともに、「れきしるこまき」において小牧山の歴史や近年の発掘調査で判明した最新情報を提供。	

イ) ソフトを中心とした施策	
空家等対策事業	空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、空家等対策協議会を設置し、小牧市の空家等対策を推進。 ○空き家対策セミナー及び相談会の実施 ・空き家の所有者等を対象とした、セミナー及び相談会を実施し、空き家等の適切な管理を促す。
三世代同居・近居住宅支援事業	親の住む小牧市内に新たに三世代同居若しくは三世代近居をするための住宅新築・増築・改築・リフォーム・購入にかかる経費を一部補助。
地域ブランド戦略推進事業	「訪れたくなる・住みたくなる・住みつづけたいと思うまち」を目指したイメージ戦略。 【”コミュニケーションプログラム”目指すまちのイメージの発信】 ・公共施設のピクトグラムにブランドロゴのキャラクターを使用、ブランド絵本やポスター、ブランドムービー等を制作。 【コマキッズドリームプロジェクト】 ・夢の教室及び市内産業見学会の開催や夢チャレンジ助成金及び海外留学奨学金を支給するなど、こどもの夢を育み、こども自身が夢に向かって挑戦できる環境を創出。 ・市民や企業、市が一体となって、こどもの夢をまち全体で応援するしくみをつくる。
こまきプレミアム商品券発行助成事業	平成 23 年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」。令和元年度においても、身近な中小店舗を支援し、市民が暮らしやすい環境を維持するため、総額 11 億円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続している。
観光推進事業等、 地域交流事業（まつり）	小牧山春のキャンペーン（3 月～5 月）、こまき信長夢夜会・小牧山薪能（9 月）、小牧駅周辺イルミネーション（11 月～1 月） こまき令和夏まつり（8 月）、小牧市民まつり（10 月）
ウ) 地域住民等との協働連携施策	
地域協議会設立推進・活動支援事業	近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の”絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区（自治会）やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指している。 ・市内 16 小学校のうち 10 校区で設立済。（中心市街地では小牧小学校区で設立）
市民活動推進事業	市民活動センターの運営や市民活動団体育成事業等を NPO に委託し、市民活動の活性化を図るとともに、市民活動助成金制度や協働提案事業化制度等を通じて、市民活動団体との協働を推進。
中心市街地活性化事業	中心市街地の賑わいを創出するために地元商店街、市民団体が行う賑わい創出事業へ助成 ①中心市街地にぎわい創出事業費補助金 中心市街地の活性化のために「小牧にぎわい隊」が実施する賑い創出事業に対する補助金 ②中心市街地空き店舗対策事業費補助金 中心市街地の市が指定したエリア内の新規出店者への家賃に対して補助を実施